

2015 年度後期 専攻教育改善委員会 議事録

1. 開催日時：平成 27 年 3 月 23 日（月）11:25～12:30

2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室

3. 出席者：常勤教員：金利昭，沼尾達弥，呉智深，横木裕宗，山田稔，原田隆郎，井上涼介，信岡尚道，村上哲，熊澤貴之，平田輝満，車谷麻緒，一ノ瀬彩
 (全常勤教員 15 名のうちの 14 名が出席)
 (常勤教員のうちの欠席者：藤田昌史)

非常勤教員：なし，教務職員：なし

1. 応用水理学特論構造工学特論（信岡）

- ・自宅学習時間を 4 時間想定で課題を出したが、難しかった。今後は 2 時間程度を目標にしたい。
- ・前半は宿題を出題したが、後半は最終レポートに直結するように変えた。

2. 土木材料工学特論（沼尾）

- ・受講者数は多いが、学生の理解度にはばらつきがあった。
- ・計画系の学生へのフォローが難しかった。興味のある学生はよく取組んでいた。

3. 交通計画特論（山田）

- ・受講者数が増えた。
- ・前半のテーマ設定は学生の満足度が高かった。
- ・他の研究室の学生の受講者も多いため、後半の課題の難易度を低めに設定した。
- ・自宅学習時間を増やすように課題の難易度は少し高くしても良い。

4. 水質工学特論（藤田 代理横木）

- ・学生の理解度を高めるために、授業中に学生への問い合わせをした。
- ・次年度は英語での授業として登録。

5. リスクマネジメント特論（平田）

- ・パワーポイントを使わず、板書で講義を行った。
- ・学生の理解度も昨年度より向上した。

6. 景観まちづくり特論（熊澤）

- ・講義と 2 つの課題を出題した。調査・提案型の課題とした。
- ・現地調査を 1 日がかりで実施したが大変だった。
- ・学外へのフィールドワークの場合は学務へ届け出る。

7. 国土空間情報特論（桑原）

- ・昨年に引き続き、応用利用について実務者による講義を行い、評判が良かった。

8. 都市システム工学演習Ⅱ・サステイナビリティ学特別演習Ⅱ、都市システム工学研究Ⅱ・サステイナビリティ学特別研究Ⅱ

- ・各研究グループより、別途資料を用いて報告が行われた。
- ・例年通り実施した(材料、構造、地盤、水圏)。
- ・来年度に海外発表を実施できるように準備している(計画)。
- ・PDCA のチェック機能として学生アンケートを実施するか今後検討する。

9. 都市システム工学学外実習、サスティナビリティ学インターンシップ（山田）

- ・ 今年度の履修者は特に多かった。今後も続けていきたい。
- ・

【大学院】その他、今後の検討内容

- ・ 研究や授業等で個別に学外に出るとき(特に遠路や長期滞在)等、必要に応じて学務へ手続きを行う。共同研究等で学生1人が学外に出る場合は適宜事務との交渉も必要である。
- ・ 授業内容の難易度については、他分野の学生への対応を検討して設定する。
- ・ 留学生にむけた英語での授業対応。
- ・ 都市システム工学演習Ⅱ、都市システム工学研究Ⅱ、サスティナビリティ学特別演習Ⅱ、サスティナビリティ学特別研究Ⅱにおいて PDCA のチェックとして学生アンケートを実施するか今後検討する。

以上